平成２３年度

科目名	応用データ処理学 Applied Computer Engineering			担当教員	渡辺　一也		
学　年	４年	学　期	通年	科目番号	08519	単位数	2
分　野	専門	授業形式	講義，演習	履修条件	必履修		
学習目標	・IT パスポート試験に関する基礎知識に加えて，表計算，文書作成，プレゼンテーション，および CAD に関する基本事項を理解し，建設工学へ適用出来る能力を涵養する。 ・平常授業（演習・レポー トを含む）に対する真摯な取組み態度を涵養する。						
進め方	授業内容は必要最小限の項目にとどめる．授業内容の理解を助けたり深めたりするために必要に応じて実技演習やプレゼンテーションを実施し，その理解度・習得度を確認しながら授業を進め，全員が授業内容を理解できるよう配慮する．						

学習内容	学習項目（時間数）	合格判定水準
	１．はじめに (1) （本科目の位置付け，授業内容と成績評価方法） ２．表計算(15) (1) データ入力，セル参照，数式，関数 (2) 表・グラフの作成・編集 (3) 建設環境分野への適用，課題演習 ［前期中間試験］	①表計算の基本操作ができる． 表計算ソフトを用いた計算，作図が出来る． また，建設環境分野における課題（簡単な計算と作図）を作成する事が出来る．
	３．文書作成(14) (1) 文字入力，書式設定 (2) 図表の作成・編集，数式 (3) 建設環境分野への適用，課題演習） 前期末試験	②文書作成の基本操作ができる． 文書作成ソフトによる文書の作成が出来る． また，建設環境分野における課題（文書と図表の組み合わせ）を作成する事が出来る．
	４．プレゼンテーション(16) (1) レイアウト，デザイン，図表作成 (2) アニメーション，スライドショー (3) 建設環境分野への適用，課題演習 ［後期中間試験］	③プレゼンテーションの基本操作ができる． プレゼンテーションを用いた発表が出来る． また，建設環境分野における課題（図表や写真を用いたスライド）を作成できる．
	５．建設環境 CAD(14) (1) 図面の作成・編集 (2) JIS 規格，データベース (3) 建設環境分野への適用，課題演習 後期末試験	④CAD の基本操作ができる． CAD を使用して図面を作成する事が出来る． また，建設環境分野における課題（設計製図で作成した図面）を CAD で作成できる．

評価方法	・定期試験を 50%，課題・授業（態度，出欠）を 50%として評価する．各試験の重みは同じとして最終的に評価する．
学習・教育目標との関係	建設工学コース必修得科目であり，コースの学習・教育目標との関係は以下の２項目である． (B-2)「土木工学の基礎知識」；筆記試験によって評価する．(50%) (C-1)「平素の課題の遂行」；平素の学習活動記録，及び課題提出物によって評価する．(50%) ・情報収集のためのインターネット使用のルールやマナー，および基礎知識に関する外部検定試験等を紹介するので，キャリアアップの機会として援用して欲しい．
関連科目	基礎情報処理（2 年）→　応用情報処理　（3 年）→　応用データ処理学（4 年）→ 情報処理工学（5 年）
教　材	参考書：配布プリント
備　考	・配布資料が多いのできちんと管理する事．（一度配布したプリントは再度配布しない．） ・演習が多いため，授業への出席を重く見ます． ・授業に出席していない場合においても，授業中の課題・宿題は提出する事．